

# Photo ふなばし

とくしゅう  
PART1

安心して生涯を送れるように  
船橋市の在宅福祉サービス



在宅福祉サービスの総合窓口「在宅ケアセンター」で行っている訪問看護サービス

MOVE

ふなばしの熱い夏  
第28回船橋市産業まつり

とくしゅう  
PART2

ふなばしの道②  
県道船橋我孫子線

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信 ● ズームアップ
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話  
ペットインタビュー



県道船橋我孫子線（丸山道交差点付近）

vol. 68

広報ふなばし写真版

MOVE

ふなばしの暑い夏

# 第28回船橋市産業まつり

船橋最大のイベント「産業まつり」。船橋の夏が一段と熱くなりました。28回目を迎えた今年も、幕開けは7月9日に市民文化ホールで開催された“ミスふなばしコンテスト”。ミスふなばし、ミスさざんか、ミスチャームの皆さんは、船橋のチャームシンボルとして1年間市の公式行事などで活躍します。

続いて、7月29・30日の“めいど・いん・ふなばし”（天沼弁天池公園）では、船橋の産業を紹介。工業製品や特産物の即売も行われました。

また、29日、明るく魅力的に生まれ変わった本町・宮本通りでは“ジョイ&ショッピングフェア”。フリーマーケットや軽スポーツコーナーなどが、所狭しと並びました。

そして30日、本町・宮本通りと船橋駅南口駅前通りで開催された“市民まつり”では、お神輿や民謡パレード、ばか面踊りなどが通りを埋めつくし、船橋のお祭りが最高潮に。このほか、29・30日は、中山・二和向台・習志野台・三山会場でも市民まつりが開催され、市内はお祭り一色となりました。

もちろん産業まつりのフィナーレは“私があげる花火大会”（8月5日）です。夜空を彩る光と音のシンフォニーは、見る人の心に鮮やかな夏の思い出を刻みます。



市民まつりのデモンストレーションパレードで、沿道の市民の皆さんに、手を振る大橋和夫市長とミスふなばしの伊藤陽子さん



通りを埋め尽くす民謡パレードに約2,000人が参加。大船橋街頭などに合わせて、皆さんの息もぴったり



夏はやっぱりかき氷が一番（二和向台会場）



めいど・いん・ふなばしの会場に、船橋産の牛乳アイスクリームが登場しました。大橋市長、ミスふなばし、ミスさざんかの皆さんと記念撮影



子供たちが真剣な表情で、思い思いの色を使った工作にチャレンジ（ジョイ&ショッピングフェア）



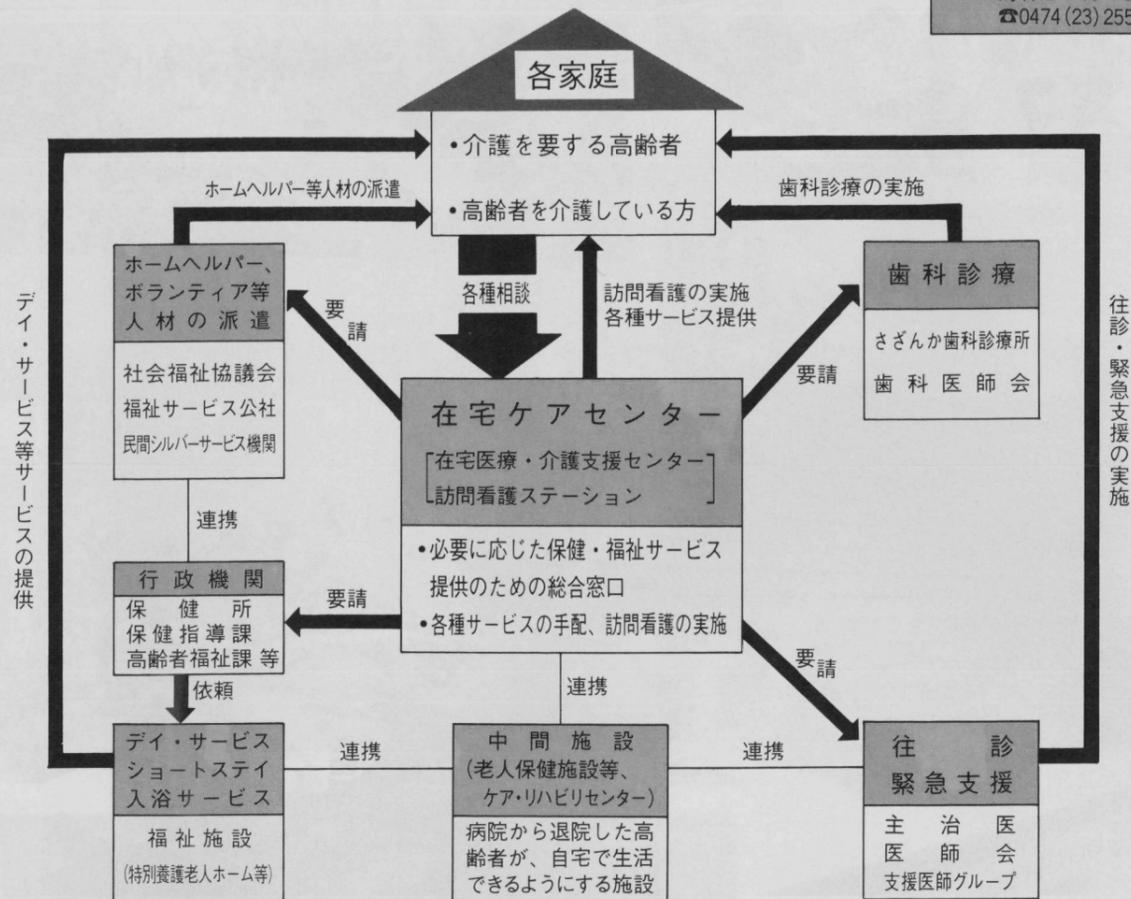
市民まつりのフィナーレを飾る、ばか面おどりのパレード



威勢のいい西武おんなみこしも、毎年市民まつりに花を添えています

# 船橋市の在宅ケア・サービスのシステム

在宅ケアセンター  
海神 2-13-25  
☎0474 (23) 2551



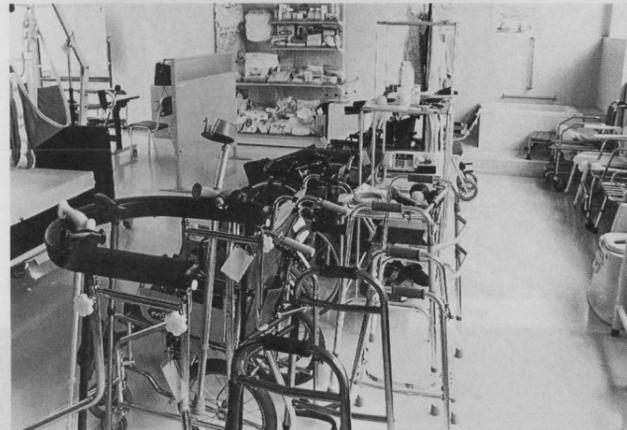
市医師会の全面的な協力で、寝たきりなどで通院ができないお年寄りが自宅で医師による診療を受けることができます

とくしゅう  
PART 1

# 安心して生涯を送れるように 船橋市の在宅福祉サービス



24時間体制で相談を受け付けています



在宅ケアセンターに展示されている様々な介護機器。機器の選定についての指導や助言も行います



在宅ケアセンターでは高齢者の介護方法などの福祉関係ビデオの貸出も行っています



主治医からの指示により、床擦れの処置や病状の観察などを行う訪問看護が受けられます



在宅で介護している方のために理学療法士によるリハビリ教室も行われます



毎年開催される介護機器展。様々な介護用品の紹介や、介護教室が行われています

人生80年時代を迎えて、ますます社会の高齢化が進み、後期高齢者（75歳以上）も年々増加しています。高齢後期に入ると心身の機能が低下し、寝たきりや痴呆性などのお年寄りが増加する反面、核家族化の進行などにより、家庭で介護する能力は低下傾向にあります。しかし、市民の皆さんが幸せな高齢期を送るための生活基盤は、多くの場合、家庭であり、住み慣れた地域社会です。一人暮らしや高齢者夫婦世帯であっても、安心して自立した生活を送るために、あるいは、介護する方の精神的な負担を和らげるために、在宅福祉サービスの充実が大きな課題となっています。

船橋市では、平成3年10月、船橋市医師会の全面的な協力のもとに、全国初の「在宅医療・介護支援センター」を開設し、寝たきりのお年寄りなど通院できない皆さんのために、主治医が中心となった在宅医療（往診）や、介護についての相談事業を始めました。

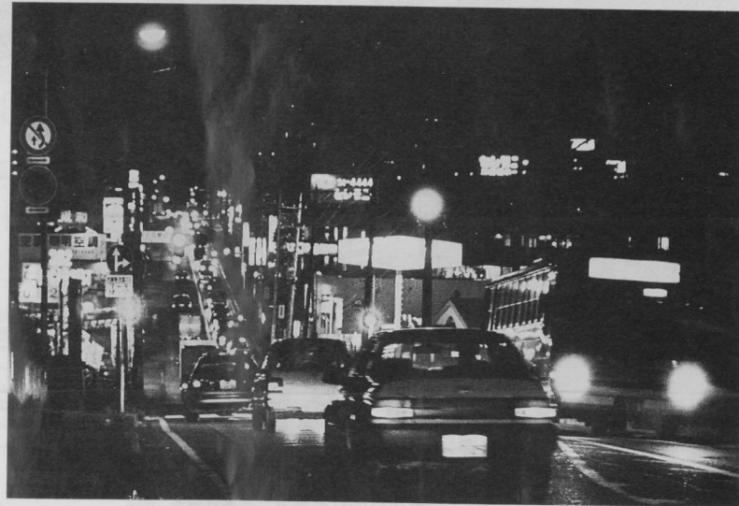
また、平成6年4月には、「老人訪問看護ステーション」（現在、訪問看護ステーション）を開設すると同時に、ホームヘルプサービスなどの在宅福祉サービスを提供する、県内初の（財）船橋市福祉サービス公社を設立しました。さらに、「長寿・福祉・健康社会」を目指し、様々な要望に沿った保健・福祉サービスを、総合的・計画的に進めようと「船橋市老人保健福祉計画」を策定。平成11年度を目標に、寝たきりなどで介護を必要とするお年寄りへのサービスを中心とした、きめ細かい施策を盛り込んでいます。

平成7年4月には、在宅医療・介護支援センターと訪問看護ステーションを「在宅ケアセンター」に統合しました。ここでは、寝たきりのお年寄りなど自宅で介護が必要になった場合、在宅福祉の総合窓口として24時間体制で相談を受け付けており、市医師会や民間の福祉施設などと密接に連携をとって、必要に応じた様々な在宅福祉サービスを提供する体制を整えています。

船橋市は、平成4年9月に「福祉と緑の都市」を宣言し、お年寄りや障害を持つ方々にやさしいまちを目指して、様々な施策に取り組んでいます。21世紀前半には4人に1人が高齢者になると予想される今、生涯にわたって生きがいとぬくもりにも満たまらちづくりを進めるために、保健、医療、福祉、住宅、生活環境などについて、行政、市民、地域社会など全体の課題としてとらえて、多くの課題に対応しています。



① 駿河台から飯山満方面を望む



③ 夜になっても交通量が多い吹上交差点



② 花輪インターチェンジ完成予想図

とくしゅう  
PART 2

ふなばしの道 ②

# 県道船橋我孫子線



市直営の北老人デイサービスセンター。楽しみながら日常動作訓練を行っています



デイサービスを利用している皆さんが協力して創作活動。たくさんの作品が並んでいました(特別養護老人ホーム南生苑)



デイサービスの入浴時間(南生苑)



お風呂でさっぱりした後はおいしい昼食の時間。カロリーと栄養価が計算されています。また、デイサービスでは、送迎のサービスも行っています(南生苑)



看護婦が定期的に訪問する訪問看護では、リハビリテーションや日常生活の指導なども行っています



ホームヘルパーの派遣は、お年寄りをもとより、家族の負担を軽くすることを目的とし、洗濯・掃除など様々な身の回りのお世話をします



寝たきりのお年寄りのために、訪問歯科診療も行っています(さざんか歯科診療所)



在宅療養者を支援するために関係者を集めて開かれた勉強会。相互の関係を強化し、理解を深め合います

市内には、東京と千葉を結ぶ交通の大動脈として、京葉道路、東関東自動車道、国道357号線、国道14号線が走り、重要な都市機能を果たしています。

そして、これらの道路に接続して、湾岸部から内陸部に向かって延びる道路が加わり、船橋の道路交通網の骨格が形成されています。その一つが県道船橋我孫子線、通称「船取線」です。

中野木交差点の交通量調査(12時間)では、3万4千台にも及び、船橋だけでなく、多くの人が利用する広域的な幹線道路になっています。国道357号線の若松交差点から北上して、花輪インター、国道14号線を横切り、市道海神宮本線と交わるところが中野木交差点。この区間は、一部国道296号線と重複していますが、慢性的な交通渋滞を緩和するため、幅員40メートル、4車線の拡幅工事と、花輪インターチェンジの改良工事が進められています。

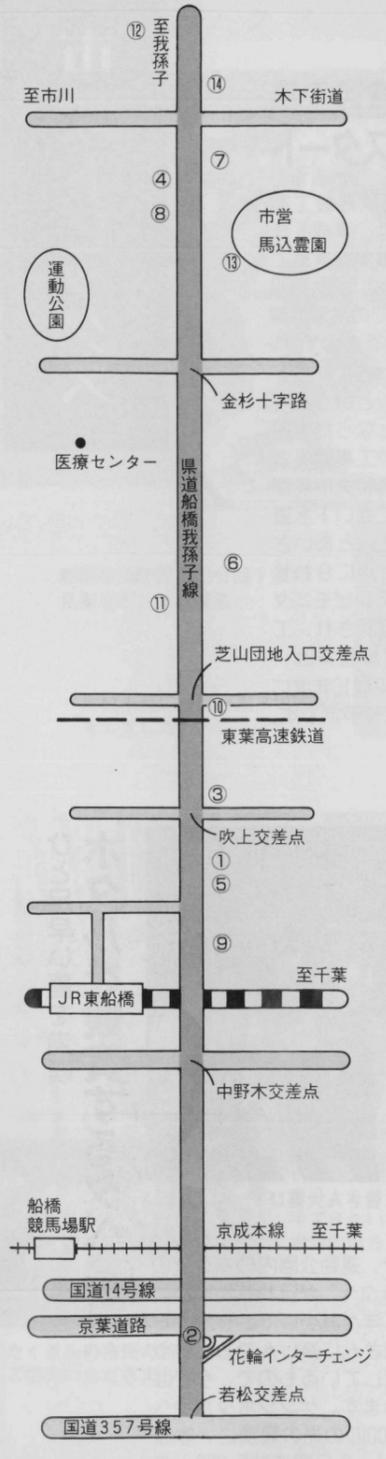
船取線は、中野木交差点からいくつものアップダウンを繰り返しながら北に伸びていきます。軒を連ねた中古車の販売店やガソリンスタンドも、船取線の風景の一つです。

高根から馬込町にかけては、ニンジンやネギ、トウモロコシなどを作っている畑など、豊かな緑も広がっています。

また、沿線には有形無形の文化財が多く残されています。毎年2月の初午の日に行われる「辻切り」(ワラで作った大蛇を村境の木にからませて、悪霊や疫病が村に入らないように祈る行事)で有名な八坂神社(中野木)。能満寺(飯山満町)の八十八ヶ所札所大絵馬。市の指定文化財となった神楽が行われている高根神明社や飯山満神明神社など、貴重な歴史が今でも大切に受け継がれています。



④ 夏の日ざしをうけ、ひまわりが鮮やかに咲き誇る(馬込町付近)



⑪ 伊藤さんの温室では、ニューギニアインパチエンスの出荷に備えて手入れの真っ最中（米が崎町）



⑭ 丸山から馬込町方面を望む（丸山5丁目付近）



⑫ 丸山公民館では現在50以上のサークルが活動しています



⑬ 修理すればまだまだ使えるものもゴミとして出されています（再生センター）



⑤ 市内の総延長6.2キロメートルのこの道路は、生活幹線道路としての重要な役割も果たしています（駿河台2丁目付近）



⑦ 北消防署（馬込町）の朝8時50分、車両点検や業務の引き継ぎをして当直隊員が交替します



⑥ 今年6月に市の民俗無形文化財に指定された高根神明社の神楽



⑧ この卵は、アトピーの方にも喜ばれています。奈良養鶏園（馬込町）



⑨ 170年前に建てられた中野木の海老原さん宅（海老原由佳さんと行造くん）



⑩ 平成8年4月開通予定の東葉高速鉄道が横切る（飯山満町1丁目付近）



王子神社の右側に築かれている浅間神社

王子神社は上飯山満本郷の鎮守様。因みに同じ上飯山満高野（こうや）の鎮守様は大宮神社である。尚社とも集落が開けた当初からの古社らしい。

七月に入って王子神社に出掛けてみた。新しい玉垣が巡っている。本郷の氏子を中心に、関係者の協賛を得て平成の年号に入ってから出来上がった。境内への入口が大小二つ設けられている。小さい方は王子神社の拝殿、右に築かれた浅間神社への参道で、低い菅原を分けて続く。鎮守様に遠慮されたように稚児柱を持った木の鳥居、御神燈、狛犬と万事が小ぶりである。が、神さびて上品である。

鎮守の森に入る。由来を読むと、何やら難しく書いてあるが、要は信濃の諏訪神社の流れの神社で、祭神は建御名方神であり、その神は大國主神の次子で云々というように、その神を記している。するとヤマタノオロチ退治で有名なスサノオの孫に当たる神様である。スサノオの姉神、アマテラス系統ではなく、土地開拓の方の神様であって、いかにも此地の神にふさわしいと云わねばならない。

赤ガシ、榎、銀杏など大樹の間、未だ蟬声を聴かない。時々、境内の奥のゲートボール場でお年寄りの打つ球音と歓声が響いてくる（文・大木 勲）

### 王子の文化財

#### 王子神社 (飯山満町3丁目)



大樹におおわれた王子神社



船橋市消防団第13分団1班の見事なポンプ車操法



大橋市長に優勝と第3位の報告をしました

### 船橋市消防団第13分団1班が第31回千葉県消防操法大会で最優秀賞に

7月25日に第31回千葉県消防操法大会が開催され、船橋市消防団第13分団1班（前原地区）が、ポンプ車操法の部で優勝、念願の消防庁長官表彰旗を手に入れました。また、小型ポンプ操法の部でも、第10分団2班（二和地区）が優良賞（第3位）に入賞しました。

この両チームは、6月17日に15分団、23チームが参加して行われた、船橋市ポンプ操法大会で共に優勝し、船橋市の代表として東葛飾支部消防団ポンプ操法大会に駒を進めました。両チームは、この大会でも優秀な成績を収め、千葉県消防操法大会に出場。全員が一丸となって、日ごろの訓練の成果を十分に発揮し、見事に最優秀賞と優良賞に輝きました。

7月26日には加藤隆義船橋市消防団長と2チームの団員の皆さんが、優勝旗を手に大橋和夫市長に結果を報告。大橋市長は「本当におめでとうございます。地域の安全のために活動している皆さんに感謝しています」と祝福しました。

### 市内の小・中学校がサマーコンサート



箏と歌による「浜千鳥」を披露した峰台小合唱部の皆さん

7月25・26・28日の3日間、市民文化ホールで第17回船橋市小・中学校サマーコンサートが開催されました。

日ごろの練習の成果を発表する場として毎年行われているこのコンサートに、器楽と合唱合わせて延べ122校が出場。曲目はクラシックやポピュラー、民謡など様々で、峰台小学校では箏を伴奏に取り入れた、全国でも珍しい合唱も披露されました。

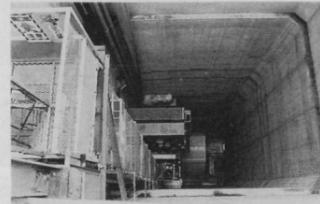
子供たちの美しいハーモニーや迫力のある演奏に、会場からは大きな拍手が送られていました。



組曲「惑星」より木星を力強く演奏した御滝中管弦楽部の皆さん



大橋市長の力強い合図で工事がスタート



発進基地にある深さ36メートルの立坑

### 下水道高瀬幹線の整備 県内最大口径の管渠建設工事 スタート

6月16日、下水道高瀬幹線管渠建設工事の発進式が行われました。市では、平成5年度から下水道高瀬処理区の整備事業を進めています。今回の工事は、高瀬下水処理場（建設中）から市道宮本・高根・金杉線までの高瀬幹線の一部1,030メートルの管渠を造るものです。工事は、深さ36メートルの立坑からシールド工法で進められ、内径5メートルという県内で最大のものになります。会場となった東船橋の発進基地には、市議会議員や工事関係者など多くの皆さんが集まり、大橋和夫市長が「市民の皆さんからの要望が特に強い下水道の整備を、全力で進めていきます」とあいさつ。続いて、大橋市長の力強い掛け声に合わせて一斉にスイッチが押されると、テレビモニターからシールド掘進機の運転が確認され、工事がスタートしました。高瀬幹線管渠は、平成8年3月には全区間貫通し、平成10年度に高瀬処理区の一部利用が開始される予定です。

### おとぎの世界が広がる アンデルセン童話の世界作品展

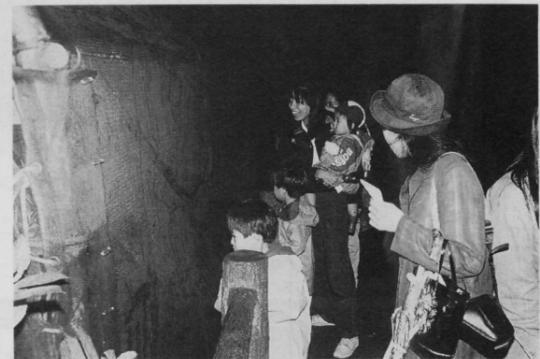


訪れた皆さんはアンデルセン童話の世界に引き込まれているようでした

7月5日から16日まで、市民ギャラリーで「アンデルセン童話の世界作品展」が開催されました。この作品展は、姉妹都市オーデンセ市（デンマーク王国）で生まれたアンデルセンの童話の世界を挿し絵で紹介するもの。会場には、国際アンデルセン賞作家賞のほか、数多くの賞を受賞しているイブ・スパンク・オルセン氏と、デンマーク出身のイラストレーター、ラース・ボー氏の作品63点が勢ぞろい。「人魚姫」や「親指姫」、「みにくいアヒルの子」など、古くから世界中の人々に親しまれてきた童話の一場面を、来場した皆さんは、一つ一つ興味深く観賞していました。



オルセン氏の挿し絵が載っている絵本も展示されました



幻想的な光の競演に皆さん大喜び

6月9日から11日まで、運動公園内のホテルの里で「ホテルを觀賞する夕べ」が行われました。これは、都市化が進み、年々減少しているホテルの美しい舞を、市民の皆さんに楽しんでもらおうと昭和59年から人工飼育しているもので、今では初夏の風物詩となっています。ゲンジボタルやヘイケボタル合わせて4,000匹の光の競演に、家族連れや若いカップルなど、3日間で約5,000人の皆さんが来場。ひと足早い夏の訪れを告げる幻想的なホテルの舞を満喫しました。

### ひと足早い夏を満喫 ホテルを觀賞する夕べ

### 船橋と中国の友好の架け橋 中国人夫妻による「おしどり展」を開催

6月13日から18日まで市民ギャラリーで、中国人の張遠帆さんと陳曉恵さん夫妻による、版画と水墨画を展示した「おしどり展」が開催されました。以前、留学生として船橋に住んでいた張さんは、現在二人の母校でもある中国美术学院助教授、陳さんは早稲田大学大学院で東洋美術史を学んでいます。おしどり展には、張さんが和紙などを使った版画、陳さんは中国の象形文字や少数民族を描いた水墨画を出展。中国の魅力があふれた作品は、訪れた皆さんを魅了していました。



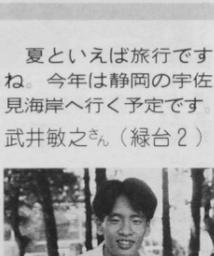
来場した皆さんに笑顔でこたえる陳曉恵さん（右）



魅力あふれる作品約40点が展示されました



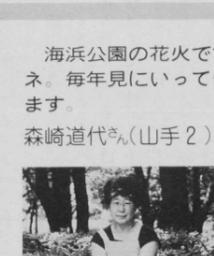
夏といえば旅行ですね。今年は静岡の宇佐見海岸へ行く予定です。武井敏之さん（緑台2）



八坂神社のお祭りが、お神輿も出て楽しみです。田島智子さん（印内1）水樹ちゃん（3歳）



海浜公園の花火ですね。毎年見に行っています。森崎道代さん（山手2）



かき氷とひまわり、スイカです！岡田真衣ちゃん（塚田小6年）昂くん（3年）秋葉千紗ちゃん（5年）



「夏」から連想するものは？

### 市民ひとことインタビュー



思い出深い人形たちが手厚く供養されました

松が丘地区で  
人形供養

7月2日、松が丘の旭硝子自治会館で人形供養が行われました。これは、古くなったもののゴミと一緒に捨てられない人形を、処分する前に供養しようと松が丘町会自治会連合会が主催して2回目の開催となったもの。東光寺のご住職による読経が行われ、祭壇に並べられた節句人形やぬいぐるみなど約2,000体の人形を前に、列席者の皆さんがご焼香をあげて供養していました。



▲今後の活躍が期待される共同体SPCの皆さん

7月1日と2日の2日間、麻薬、覚醒剤の乱用を呼び掛ける千葉県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動に協力し、街頭募金を行いました

本町五丁目町会  
待望の自治会館が完成



◀「御蔵稲荷由来と謝恩の碑」の除幕も行われました

町会・自治会



今後様々な活動の場として利用されます

7月9日、本町五丁目町会（魚田薫会長）に待望の自治会館が完成し、その落成式典が行われました。当日は、大橋和夫市長をはじめとする来賓や町会の皆さんが、多数出席して自治会館の完成を祝福。会館は2階建てで、60人収容の舞台付き大広間などを備えており、町会の皆さんの様々な活動の場として利用されることとなります。また、隣接する「御蔵稲荷社殿」の新築落成、「御蔵稲荷由来と謝恩の碑」の完成除幕も合わせて行われました。

東ライオンズクラブ創立25周年  
記念の時計塔モニュメントを除幕



植野会長と大橋市長の手によって除幕が行われました

6月26日、船橋アリーナ入口で時計塔モニュメントの除幕式が行われました。このモニュメントは、創立25周年を迎えた船橋東ライオンズクラブが、その記念として市に寄贈したものです。式典では、船橋東ライオンズクラブ植野英男会長と大橋和夫市長の手で、モニュメントの除幕が行われました。船橋東ライオンズクラブは、青少年の健全育成、留学生の派遣・受け入れ、献血の推進運動など、幅広い事業を行っています。当日は、あいにくの雨にもかかわらず、たくさんの関係者の皆さんが除幕を見守っていました。

街まちかど角  
ホットニュース

皆さんからの  
情報をお待ち  
しています。

◆広報課  
☎ 36-2015



船上で船橋の伝統芸能ばか面おどりを披露

7月12日、船橋橋近くの海老川で、湊町はやし連の有志の皆さんによって「川の流に乗って響け祭り囃子」と題したお祭りが行われました。船上を舞台に、お囃子やばか面おどりを披露するという漁師町らしい粋なお祭りで、訪れた皆さんは、心地よいお囃子の音色と、かわいらしい踊りに酔っていました。

7月15日、金堀町では、「ホウネンボウ」という行事が行われました。少年たちが町内の家々の玄関先で悪魔払いの掛け声を上げ、丸太に神をくり付けて作った神輿をもむという、市内では他に例を見ない貴重な夏の行事です。

夏の郷土芸能  
湊町のお祭りと  
金堀町の「ホウネンボウ」



小学5年生から中学3年生の子供たちがお神輿をかついで回ります

ボランティアグループ訪問 ⑥  
ボランティアグループ「共同SPC」  
子供たちだけで自主的に活動しています

このボランティアサークルは、子供たちだけで自主的に活動している珍しいサークルです。メンバーは、行田中学校の3年生を中心に、小学6年生から高校2年生までの17人。お年寄りにタオルを贈ったり、海外の恵まれない人々にテレホンカードを贈ったり、公民館でボランティア研修を行うなど、積極的に活動しています。また、行動力もあり、阪神・淡路大震災が発生した翌日の夕方には、いち早く塚田駅で街頭募金を呼び掛けました。「募金活動をしているとき“がんばってね”という励ましの言葉が一番うれしいですね」と皆さん。秋にはアニメまつりを開いて、売り上げを福祉のために寄付する計画も立てているそうです。今後の活躍にも、大きな期待が寄せられています。



約70人がチャターの音色に耳を傾けました

チャターの優美な調べにのせて  
街角の小さな小さなコンサート

7月9日、アートマンヘルスアカデミーと船橋まちかどミュージック（MUSIC）の共催による「街角の小さな小さなコンサート」が開かれました。これは、まちなかに文化のかがりを広めようと初めて開かれたもの。西洋の琴といわれるチャターの奏者、内藤敏子さんをお迎えし、「第三の男」など10曲が披露されました。内藤さんが曲にまつわるエピソードを紹介したり、会場に集まった約70人の皆さんが、曲に合わせてハミングをする場面も見られるなど、とても和やかな演奏会でした。



「竹山」の旦那様こと、吉橋政次郎さんの晩年の遺影

これは、後に法典村の助役になり、さらに、村長を二度もやった「竹山」の旦那様が、村役場で仕事をしていた頃の遺影です。「竹山」の旦那様は、才覚が優れ、人望も高く、その上、時代の動きに敏感な人でした。そして、立派なテイパーの口髭を生やし、いつも羽織袴の姿で後場に通っていました。ある時、用事があって、異国文化の色濃い横浜に行きました。その帰りに、法典村ばかりでなく、船橋界隈でも初めてという舶来の万年筆を買って来ました。この珍しい万年筆を手にした旦那様は、役場の人達や役場を訪れる村人達に「どうだ、これが万年筆というものじゃ。こーれ、この通り持って書くこと、ベロン先からインキが出て、スラスラと書けるんじや」

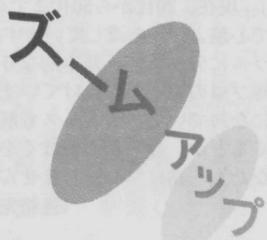
ふしびの民話

困り屋で消えた  
舶来の万年筆

文・村上昭三



「西洋の筆を見るのなんて、長生きして良かった」と言いながら、旦那様に返しました。それから、話が違って四方山話をしていくと、困り屋の灰の中から、異様な臭いがして来ました。そこで旦那様は、その場所を火箸で掻き回して見ました。すると、旦那様の自慢の万年筆の軸は熱で溶け、金のペン先だけが出て来ました。これには、旦那様も「あつ、うっかり残念してしまつたか。うー、残念」と大声で叫び、顔を硬直させて悔しがっていました。「竹山」の旦那様によって、船橋一帯で最初に入った万年筆は、このように困り屋の中で溶けて消えてしまったというのです。



舞台女優  
佐藤雅子さん（芝山）  
自分が楽しめる限り  
役者を続けたい



「Suppinぶるうす」でニューハーフの「おミズちゃん」役を演じる佐藤さん（左）

映画・演劇で話題の今井雅之さんが脚本・演出・主演している公演があった。「ウィンス・オブ・ゴッド」「守ってあげたい」「Suppinぶるうす」の3作連続公演。収容人数120人ほどの銀座小劇場で、テンポのあるエネルギッシュな舞台に、会場全体が惹き込まれていく。この舞台の1作目で特攻隊員の清純な恋人役、2作目は無邪気な女の子役、3作目では生きのいいニューハーフ役を演じていたのが佐藤さんだった。佐藤さんは、県立船橋二和高校演劇部の出身。中学生の時に見た二和高校の演劇に感動して同校に入学した。しかし、担当はほとんど小道具や衣装。「自分に自信がなくて、人前に出られなかったんです。でも、顧問の土田峰人先生から、芝居に対する姿勢を学びました」

高校を卒業して専門学校に通ったが、やはり舞台への夢は捨てられず、富田浩太郎先生の私塾に入った。「舞台上にいるのは自分ではなく、演じている人物だと教えられる。その役の深みを楽しめるようになりました」。その後、東京アクターズスタジオで実践的な演技を学んだが、この先役者として自分がどう進んでいくかを迷っていたとき、今井雅之さんと出会った。一緒に芝居をやることになった。銀座小劇場連続公演での毎日の古い舞台は、今まで味わったことのない充実感を与えてくれた。8月下旬のシアターサンモール、12月の紀伊国屋ホール公演を間近にひかえ、けい古に励む佐藤さん。「自分が楽しめる限り役者を続けたい」と大きなひとみを輝かせた。

落ち着いたサーモンピンクのサマースーツに、茶のローファーを履いて登場した佐藤さん。日焼けした肌に、シンブルなゴールドのネックレスがとても似合っていました。

「ネックレスは、昨年、就職のお祝いに祖母からいただきました。アクセサリーはあまり好きじゃないんですが、これだけはとても気に入っています」

今までロングのストレートだった髪も、昨年の12月に初めてショートにしたそうです。

買った物は船橋駅や津田沼駅周辺。「洋服は落ち着いた色で、パンツスーツなど、動きやすいものを選びます」

普段はTシャツにジーンズ姿で、自転車通勤。愛用のトバース色のバッグは、シヨルターとリュックの2WAYバッグとか。

現在サーフィンに夢中で、休日はウエットスーツに身を包み、片貝の海で特訓中。「小さいころから、夏休みには館山の海で遊んでいたのが、海が大好きなんです。平日は体力づくりのため、海浜公園の温水プールに通っています」という佐藤さん。いつか海辺に住んで、ゴールドデンリトリバーと暮らしたいと微笑みました。



まい・ふあつしょん

落ち着いた色で  
動きやすい服が好きです

佐藤真弓さん(印内)

葛飾書道部  
葛飾公民館

公民館の講習会がきっかけで始まったこのサークル。現在30人の皆さんが、毎週水曜日の午前中に活動しています。毎月第1週は漢字、第2週はかな、第3週は実用書式などを学び、第4週は作品を提出して段級を取得するのが、このサークルの特色です。現代書道院の碓谷篤堂先生のきめ細かい指導が好評で、入会待ちの人がいるほど。「段や級が上がるのが励みになるので、皆さん自宅でも熱心に練習しています」と高石さん。新年会や文化祭などで、会員の親ほくを深めているという、とても和やかな雰囲気のあるサークルでした。

(連絡先:高石昌子 ☎0473-35-1053)



練習するほど実力が  
ついてきます



普段から使える実用書式も学べます

みんなの  
広 場

サークル  
通 信

龍 翔 會  
首都圏のお祭り

地元金杉台団地のお祭りフリークが集まって、昭和62年に発足、現在会員は約50人。老若男女を問わず、個性豊かな面々が活動しています。担ぐ神輿は江戸神輿。船橋を拠点に、都心や近郊にも遠征しています。三社・鳥越・神田など月2〜3回ペース。もちろん市民まつりにも参加しています。「担いでいる時の一体感と、終わった後の充実感は、一度体験すれば病み付きです」と皆さん。半天を着ると、違った自分を発見することもできるとか。どこかのお祭りで神輿を見かけた時に、「粋だな」とか「担ぎたいな」と思った人は、一緒に担いでみませんか。

(連絡先:三田 清 ☎48-2726)



あなたも夢中になれるものを  
持ってみませんか

「ソイヤ!ソイヤ!」と威勢のいい掛け声が飛びます

運 動 公 園



サンデーテニスを楽し  
んでいます



汗を流すのはとても楽しいです

「仲間とテニスをするのはとても楽しいし、生涯続けられるスポーツですね」と皆さん。ららぽーとテニスクラブでプレーしていたメンバーで結成したことから、「ららニス」。現在、20代から50代までの20人が、毎週土・日に集まって心地よい汗を流しています。練習は、初・中級と上級の2クラスに分かれて、基本的な6つのストロークを中心に、富塚プロのコーチを受けています。毎週の活動が生活の一部になっていて、ストレスも解消し、仕事への意欲がわいてくるとか。春・秋の親ほくを兼ねた合宿も楽しみの一つ。あなたも一緒にプレーしませんか。初心者も大歓迎です。

(連絡先:古澤康夫 ☎93-2684)

あい・らぶ・ふなばし



母国でコンピュータ・  
ネットワークの  
会社を作りたいです

シブリ・アザムさん  
(本町)

「船橋は自然も多いし、海も近く、とても好きです。ずっと住みたくなるまちですね」

シブリさんは、バングラデシュのご出身。10年ほど前に来日して、日本語を勉強しました。船橋には5年前から住んでいます。現在、大手町の銀行でコンピュータ関係の仕事をしています。

奥様と4歳のお坊ちゃんとの3人暮らし。「ワイフは、全然日本語がだめなんです。保育園に通う息子は、日本語の上達が早いので

すね。私より上手なんです」とニコリ。

趣味は旅行とスポーツ。「テニスやバドミントンをやったんですが、胃の手術をしてからは、もっぱらテレビ観戦。野球は中日とヤクルトのファンです。でもこうして元気になれるのも、日本の進んだ医学のおかげです」

子供には、アメリカで英語教育を受けさせたいというシブリさん。将来は、国に帰ってコンピュータネットワーク関係の会社を作るのが夢だそうです。

お店

輸入雑貨の店  
「ぶちあ〜とTANAKA」

本町3-1-1  
☎0474(22)3022



▲「かわいい小物をお手軽な価格で、をモットーにしています」と佐藤さん  
◀人気の「猫のコーナー」

船橋駅から南に進み、本町通りとの交差点を渡ってすぐ左側に、世界の輸入雑貨を扱うお店「ぶちあ〜とTANAKA」があります。お店に入ると、メキシコ・インド・ペルー・スペイン・イタリア等々世界のいろいろな国の小物が所狭しと並んでいます。「もともと、田中家具の送迎の場所として利用していただけだと思いきや、7年前にこのお店を始めました」と店長の佐藤節子さん。

お客さんは主婦の方が中心。人気の商品は、インド製のドアベルやピエロの人形、猫の絵をあしらったハンカチやぬいぐるみ、手さげ袋など、猫のコーナーの商品だそうです。「動物が好きなので、どうしても猫の小物が多くなってしまいます。値段は200〜300円くらいのものでありますし、きれいでかわいい小物をいっぱい集めていますので、気軽に足を運んで欲しいですね」と佐藤さん。

お店は午前10時から午後6時30分まで、定休日は水曜日。「海外旅行先でお店の商品と同じ物を見た」というお客さんが、思い出さずに花を咲かせることもあるとか。世界の国々の小物にふれて、海外にいる気分を味わってみてはいかがでしょうか。

船橋市写真連盟  
女性会員展

6月20日から25日まで、船橋市写真連盟女性会員展が市民ギャラリーで開催され、27人の会員の皆さんの作品が展示されました。題材は、美しい自然や街角の風景、身近なコマなど様々で、どれも女性らしい感性にあふれていました。



今年で3回目を迎えた女性会員展

あ と が き

◇日ごろより本誌の発行につきましても、市民の皆さんの温かいご理解ご協力をいただきありがとうございます。お陰様でこの度、平成6年度全国広報コンクール組写真の部に於いて、6席に入選を果たすことができました。

入選の対象となったのは、昨年7月に編集したPhotoふなばし第62号の特集「ふなばし夏模様」です。船橋の夏の風景や生活を題材にしたこの作品で、市民の皆さんの生き生きとした様子が表現されていたことが、高く評価されたのだと思います。今年も夏本番。皆さんは、きっとすばらしい夏を満喫していることと思います。私たちが、皆さんに負けないように、より良い「Photoふなばし」を目指して努力してまいります。今後とも皆さんのご支援、ご協力をお願いいたします。(松)

レースバト  
(インブラヒット)

オーナー

高橋貞一さん  
(旭町)



僕たちは、レースの時には海面すれすれを飛ぶんだ

僕は、一見何の変哲もないハト。と言っても公園でよく見かけるキジバトではなくて、レースバトなんです。2年ほど前に生まれたんだけど、先祖はレースバトの世界では定評のヨーロッパ出身です。好物は、トウモロコシとエンドウマメ。僕たちレースバトは、生まれて1か月もすると、自宅周辺の景色を覚えるために、20キロメートルぐらい離れた所から飛ぶんです。そして次第に100キロ、200キロと距離を伸ばしていくんだ。去年の春には、何と1,000キロレースに出場して見事に連合会優勝。すごいでしょ。その日は、北の果て稚内を朝の5時半に出発。船橋に着いたのは翌日の朝8時ごろ。ご主人が大分心配したらしく、僕の姿を見てとても喜んでくれたんだ。夢は総合優勝。あと4・5年は現役で頑張りますので、みんな応援してくださいね。

ペットインタビュー

熱いステージの競演

# みやもとBANDライブ'95



力強いロックを熱演したFLAMEの皆さん



女性バンドSURELYはビートルズの曲にチャレンジ

6月25日、若さと熱気あふれる「みやもとBANDライブ'95」が、開催されました。このライブは、宮本公民館の開館以来、毎年行われているもので、今年で8回を数えます。たくさんの応募者の中から選ばれた8グループの皆さんは、学生から社会人まで幅広く、いずれも実力派ぞろい。ステージ狭しと駆け回るアップテンポのロックや、じっくり聴かせるバラードなど、個性豊かな演奏を披露しました。参加者の手作りで行われているこのライブ、会場はステージと観客の皆さんが一体となって大いに盛り上がっていました。

## 楽しみながら防災知識を身に付ける 第6回ふなばし防災双六ラリー大会



子供からお年寄りまで100人以上の皆さんが参加しました

7月16日、船橋駅北口おまつり広場で、第6回ふなばし防災双六ラリー大会が行われました。これは、日本の伝統的な室内ゲームの双六を使つてのウォークラリーで、千葉県社会体育指導員船橋市連絡協議会が開催したものです。まず、サイコロを振ると同時に、ガスコンロの火を消してから双六を進め、ゴールした順に指定された公園などに行って、防災についての問題を解いて帰って来るといったゲームです。参加者の皆さんは、楽しみながら防災についての知識を深めていました。

スポーツで健康ふなばし  
こんにちは...



「人もまちも安全で 健康に住む街 知る町 愛する横丁」をテーマに行われました